

IAI日本支部1999年度第3回セミナー
实用期を迎えたIAI/IFC
~~実証実験と今後の展開~~

IFCの今後の計画

99/11/02

IAI日本支部技術統合委員長
構造計画研究所
高本孝頼

IAI日本支部1999年度第3回公開セミナー

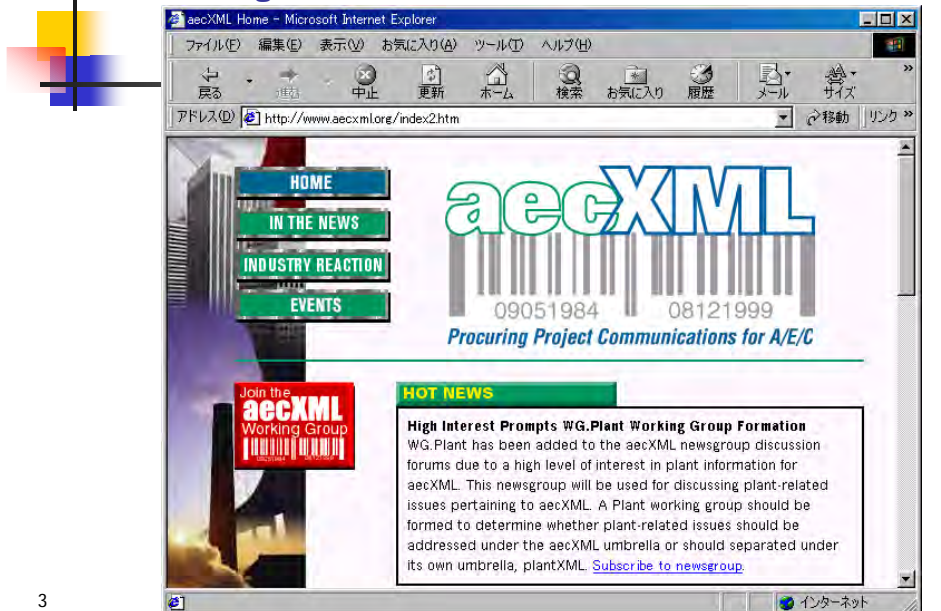
ITM#13での決議

- R2. X(R3. 0のプラットフォーム)の開発の再確認
 - MSGがR2.X開発に関して明確化する内容を12月1日までまとめ、12月18日にITMなどで決議予定
- aecXMLとのコラボレーション
 - IFCでもXMLとのデータ交換の必要性を強調(ドイツ語圏支部、日本支部、オーストラレイシアン支部、シンガポール支部、北欧支部が主張)
 - 北米支部がaecXMLとのコラボレーションを提案(aecXMLとは、ベントレー社などを中心に発足した建設分野でのXML仕様をまとめる団体)

参考: aecXMLホームページ

IAI日本支部1999年度第3回公開セミナー

www.aecxml.org



IAI日本支部1999年度第3回公開セミナー

IFCのオープン化

- EXPRESSコードを一般にIAI Web/FTP サイトで公開
- 仕様書(ドキュメンテーション)のオープン化
 - オープン化を行っているaecXMLとのコラボレーション関係より
 - 非会員への仕様書の販売(各支部ごと、最低は年会費)

4



技術的検討事項1

- クロス・バージョン・マッピング開発
 - 各リリース間のマッピング(特に現時点では、R1.5.1とR2.0)
- IFC R3.0/IFC 拡張プロジェクトの検討
 - 各支部からの計画要望書をまとめ・提案
- (BLISプロジェクトでのR2.0のアグリーメント提案)

5



技術的検討事項2

- プロセス・モデルの統合化
 - これまでのプロセス・モデルが各ドメインごと、リリースごとに個別に開発されてきたことによる不統合性を反省して
 - イギリス支部の Matthew Bacon氏より提案

6



日本支部の今後の計画

- インプリのアグリーメント
 - BLISプロジェクトと歩調が必要
- 実モデルによる実証実験
 - ユーザ側とのジョイント
- R4.0の計画
 - 土木・施工のプロジェクト再度提案
 - 新たなプロジェクト？